

骨髓バンク・さい帯血バンクを身近なものに

BANK! BANK!

みんなでつなぐいのちのバトン



TOPICS
HLA「ふたりの相性診断」

移植事業に携わるスタッフの思い
つながるメッセージ

患者さん・ドナーさんの体験談、メッセージ
つながる「ありがとう」



HANK!

+ 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

HLA「ふたりの相性診断」

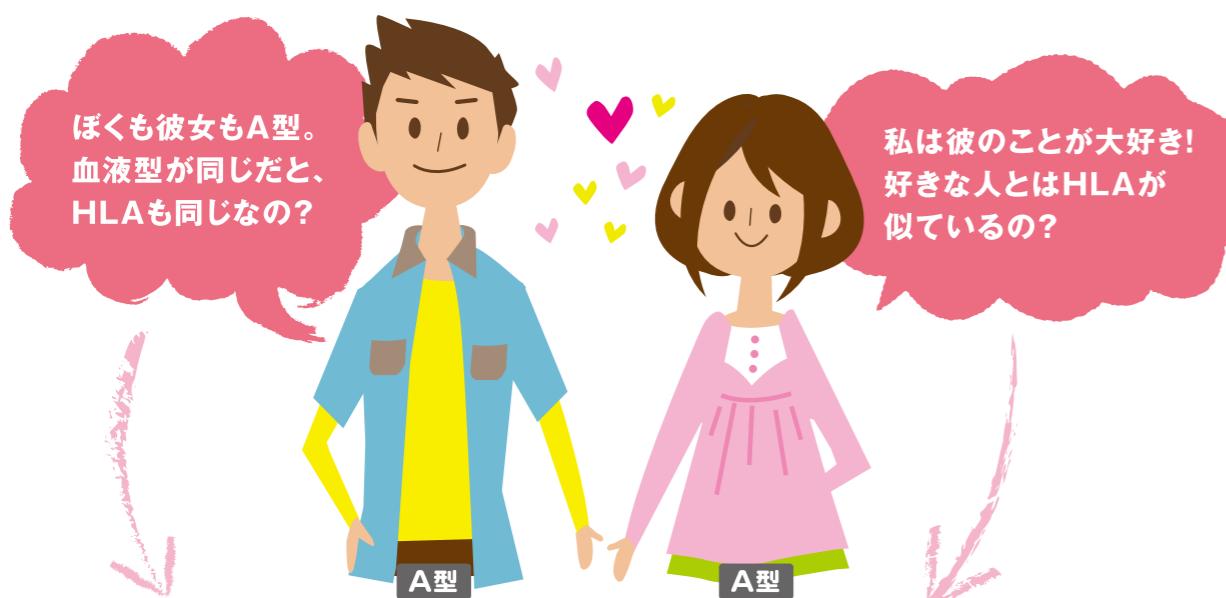
「HLA」という言葉を聞いたことはありますか？HLAとは、白血球など全身の細胞にある「型」のこと。白血病などの治療方法である、造血幹細胞移植をするためには、患者さんと提供者（ドナー）の「HLAの相性」が合わないと、体の中で細胞がうまく働けないことがあります。今回は、あなたの体の中にもある「HLA」について学んでみましょう。

「骨髓バンク」「さい帯血バンク」って知ってる？

骨髓バンク・さい帯血バンクでは、白血病などの患者さんに血液を造る細胞（造血幹細胞）を分けてくれるドナーを募集しています。医療が進歩した現在でも、ドナーになってくれる方がいなければ、移植が必要な患者さんを助けることはできません。血液の病気と闘う患者さんのために、あなたの「HLA」が必要です。

「HLA」って何？

ズバリ、白血球から見つかった血液型です。Human Leukocyte Antigen（ヒト白血球抗原）の頭文字をとってHLAと呼ばれています。一般的に言われているA・B・O・ABの4種類は赤血球の血液型です。現在では、HLAは白血球だけではなく、ほぼすべての細胞と体液に存在し、病原菌から身体を守る重要な働きをしていることが明らかになりました。



血液型が同じでも、HLAはちがう

血液型はA・B・O・ABの4種類が一般的ですが、HLAは数万種類もあります。血のつながらない人とHLAが合う確率は数百から数万分の1しかありません。

好きな人とは異なる？！

HLAは自分と自分以外を見分けるための「目じるし」であり、「多様なHLAを持っているほど多くの病原体に対応できるので、強い子孫を残すために、ヒトは本能的にHLAが異なる異性に惹かれる傾向がある」という興味深い説もありますが…現在のところ、異性に好意を持つこととHLAの相関性は明らかになっていません。



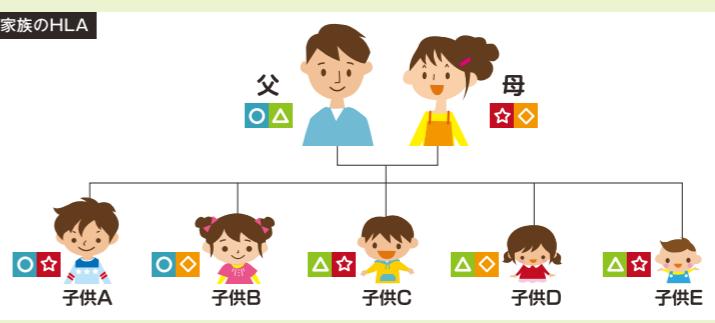
顔や性格とHLA型は 関係しない

造血幹細胞移植をしても顔や性格は変わりませんが、血液型や白血球のHLAはドナーと同じになります。また、患者さんとドナーの血液型を合わせる必要はありませんが、HLAを合わせる必要があるため、ドナーを見つけるのは簡単ではありません。

まとめ

現在も移植を必要としているのに、ドナーが見つからず移植ができない患者さんがいます。（裏面のグラフをご覧ください）
骨髓バンクへのドナー登録やさい帯血の提供など、あなたの一步が患者さんの希望になります。

もし子どもたちに
移植が必要になったら、
ぼくがドナーになって
すぐに移植できるの？



家族でも骨髓の提供は 簡単ではない

HLAは数万種類もあり、家族だからといって一致するわけではありません。ただし、左の図の様に、HLAは両親から半分ずつ受け継ぐため、兄弟姉妹の間では4通りになります。家族の中で移植に適したHLAの人を見つからないときは、骨髓バンク・さい帯血バンクでドナーを探します。

監修:公益財団法人 HLA研究所

つながるメッセージ

移植事業に携わるスタッフから、読者の皆様へメッセージ！



東京都立駒込病院 血液内科
移植コーディネーター
金本 美代子 さん（左）
飯崎 淑恵 さん（右）

Q.普段どのようなお仕事をされていますか？

移植を必要としている患者さん・骨髓を提供してくれるドナーさんとの面談や相談を通して、移植・採取の流れやリスク・手続きや費用の説明を行っています。また、移植に向けた院内外の連絡調整もコーディネーターの仕事です。当院では、年間100件を超える造血幹細胞移植を行っています。

Q.お仕事の中で印象に残ったエピソードを教えてください

骨髓を提供していただく予定だったドナーさんが、健康上の理由で提供ができなくなってしまったときに、迅速にさい帯血移植の準備をしていただいたことです。そのおかげで、予定の日に移植ができて、患者さん共々感謝の思いでいっぱいでした。そのときの状況に合わせて、移植方法を選択できるさい帯血バンク・骨髓バンクのシステムの素晴らしさを強く感じました。

Q.読者へのメッセージをお願いします

患者さん・ドナーさん共に治療を正しく理解した上で移植・採取が行われるような支援を心がけています。1人の患者さんの移植が実現するまでに、バンク関係者など多くの方々が関与している医療であることを日々感じながら、コーディネートしています。

つながる 「ありがとう」



さい帯血移植を受けた
岩切一馬くん（9歳）
神奈川県茅ヶ崎市在住

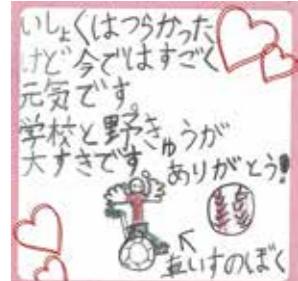
《移植を受けた患者さん家族からの、感謝のメッセージ》

息子の「今」をくれた方々に感謝する毎日です

一馬は4歳の時、突然歩けなくなり、神経芽腫（神経組織の中にがん腫瘍ができる疾患）と診断されました。この時すでに腫瘍はかなり進行していて、発覚した2日後には抗癌剤治療を開始。その後、当時の神経芽腫の最新治療法「さい帯血移植」と出会いました。そして、初めてセカンドオピニオンを利用し、移植実施件数の多い病院を選んで話を聞いた結果、その病院の先生に背中を押してもらい治療に挑むことにしました。その後、幸運にも一馬に合うHLAのさい帯血が見つかり、移植を受けることができました。しばらくは、免疫抑制剤（免疫力を低下させる薬）を使用しながらの生活が続きましたが、拒絶反応（患者の細胞が移植されたドナーの細胞を攻撃する副作用）はなく、腫瘍細胞の再発は抑えられ、移植後169日目に退院することができました。

移植から4年が過ぎた現在。一馬は、神経芽腫の後遺症で車椅子生活ですが、毎日大好きな学校（普通校）に通っています。さい帯血をバンクに提供してくれた方をはじめ、たくさんの方々のおかげで、「一馬の今」があることに日々感謝をしています。今年は、大好きな野球観戦に行くことができるほど元気になりました。これからもいただいた命が続くよう、免疫力が低下しないように注意し、家族で色々所に出かけたり、美味しいものを食べたりしながら、毎日を過ごしていきたいと思います。

一馬くんからの直筆メッセージ



患者さん・ドナーさんの体験談をもっと見たい方は、Facebookをチェック！ BANK!BANK!のバックナンバーも掲載！ アクセス方法は裏面へ

▶あなたの体験談も募集しています！ 詳しくは、①「bmdc」で検索→②「造血幹細胞移植情報サービス」にアクセス→③「お問い合わせ」ページへ！

つなげよう「ありがとう」

INFORMATION

骨髓ドナーの登録窓口やさい帯血の提供ができる産科病院は
ポータルサイトでチェック! QRコードからアクセスできます。

ポータルサイトでイベント& ボランティア情報をチェック!

骨髓バンク・さい帯血バンクポータルサイト
「造血幹細胞移植情報サービス」

www.bmdc.jrc.or.jp/

bmdc 検索



ポータルサイトの「パンフレット図書」からバックナンバーも閲覧できます!



想いを言葉にかえて

ポータルサイトにある「つながるメッセージ」では「BANK!BANK!」を読んで考えたこと、感じしたことなど、ご意見を募集しています。投稿された内容は、広報誌やWEBページ制作などの参考にさせていただきます。

Facebookページで クイズや最新情報をチェック!



BANK!BANK!
Facebookページ

bankbank.jrc 検索

<https://www.facebook.com/bank.bank.jrc/>

※画像はイメージです。



マンガで学べる 「骨髓バンク・さい帯血バンク」

骨髓バンクやさい帯血バンクって難しそう…。と思うあなたに、この2冊のマンガがおすすめ。骨髓バンクや造血幹細胞、HLAなどについて分かりやすく解説しています。

デジタルパンフはこちらをチェック!

http://www.bmdc.jrc.or.jp/pamphlet/generalpublic_p.html

bmdc 検索



「ぞうけつおかん」
動画公開中!!
Facebookを
チェック!



日本赤十字社

患者さんに適合する「さい帯血」や「骨髓」をインターネットでいつでも探すことができるよう、「さい帯血」や「骨髓ドナー登録者」の情報の管理や必要な検査を行っています。

BANK! BANK! とは

2つのバンク【骨髓バンク・さい帯血バンク】の理解を深めるための広報誌。全国から集まったメンバーが制作に参加し、毎号異なるテーマをわかりやすく解説。骨髓・さい帯血に含まれる造血幹細胞(血液を造る細胞)を、より多くの患者さんに安全に届けることを目指して活動しています。

骨髓バンクへの関わり

全国の献血会場でドナー登録の受付や、パンフレットなどによる普及活動をしています。

さい帯血バンクへの関わり

全国6つのさい帯血バンクの運営をサポートしています。さい帯血の品質を向上させるための研修や、さい帯血バンクを知ってもらうための普及活動をしています。

次の
BANK!
BANK!

造血幹細胞移植を受けた人・提供した人は今、どんな生活をしているのでしょうか。
4月発行予定の次号は、造血幹細胞の移植に関わった人の今をお届けします!